

株式会社稲岡建設の環境行動計画

平成21年7月1日

取組方針

株式会社稲岡建設は、公共事業である道路・河川・は場整備工事から、個人の宅地造成工事まで、総合的に建設業を営んでおり、創業以来 47 年の事業活動の中で、技術をもって豊かな地域社会の創造と発展に貢献し、品質第一をもってお客様に最大の満足と安心を提供するとともに、誠意をもって行動し、信頼される企業を目指してきました。

そうした事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら、さらなる進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 省エネルギーと省資源(電力・紙使用量の節減・節水)
- ② 廃棄物の削減とリサイクル
- ③ 資源の有効な利用
- ④ 5S(整理・整頓・清掃・清潔・較)の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成21年7月1日

株式会社稲岡建設

代表取締役社長 稲岡 保男

3 環境負荷の低減目標

当社における環境負荷の低減目標は、次のとおりです。

(基準年度を平成 19 年度、目標年度を平成 22 年度とする。)

【削減目標 1】 二酸化炭素の売上高当たりの排出量を 3%削減する。

(基準年度 : 973 kg-CO₂/百万円 → 目標年度 : 943 kg-CO₂/百万円)

【削減目標 2】 産業廃棄物の売上高当たりの排出量を 1%削減する。

(基準年度 : 6.9 トン/百万円 → 目標年度 : 6.8 トン/百万円)

【削減目標 3】 コピー用紙の使用量を 3%削減する。

(基準年度 : 183 kg → 目標年度 : 177 kg)

【削減目標 4】 水使用量を 1%削減する。

(基準年度 : 81 m³ → 目標年度 : 80 m³)

4 環境保全に向けた具体的な取組

当社における環境負荷の低減目標を、達成するための具体的な取組活動は次の通りです。

【取組活動 1】

(事務・営業部門)

- ・ 空調温度を冷房温度 28 度、暖房温度 20 度に設定する。
- ・ クールビズ、ウォームビズを推奨する。
- ・ 使用していない PC、電灯をこまめに消す。
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする。

(現場)

- ・ 昼休みと休憩時間には、機械に負担の掛からない範囲で、重機・トラック等のエンジンを切る。
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける。
- ・ 重機・トラック等の空調温度を適正温度に設定する。
- ・ 作業効率の改善等により、残業時間を少なくする。

【取組活動 2】

(産業廃棄物)

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する。
- ・ 廃棄物管理票(マニフェスト)の管理を徹底する。

(一般廃棄物)

- ・ ファイル・フォルダ等は繰り返し使用(リユース)する。
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する。
- ・ 新しい製品カタログ・電話帳等を受取るときは、旧版を引き取ってもらう。
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する。

【取組活動3】

- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する。
- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する。
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める。
- ・ 電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する。

【取組活動4】

- ・ 節水を呼びかける標語を提示する。
- ・ 使用量をこまめに点検する。

【その他】

- ・ 製品、材料、備品は決められた場所に返却する。
- ・ 時間を大切に、5Sを徹底する。
- ・ 環境への新たな取組を社員が積極的に提案するよう推奨する。

5 環境行動計画の実施体制

環境保全担当者を委員長とする環境活動委員会を設け、半年に1回を目途に開催し、具体的な取組活動の実施状況をチェックします。